

文書番号	PRQMEM001-10
施行日	2025年 1月 1日
作成者	品質安全向上室

ジャスト便 ドライバー 【安全品質ハンドブック】

ジャスト便ドライバー・確認・報告・作業・ルール



ダイセー倉庫運輸株式会社

目 次

・ドライバーの皆さんへ2P	運行前の確認24P
・善管注意義務3P	納入先での事故は防げます25P
・安全第一4P	運行中の確認26P
・①ジャスト便ドライバー5P	フォークリフト操作時「11」の注意27P
ジャスト便ドライバーはマナーを守る6P	①リフト乗降、三点支持について28P
トラブル事例7P	⑤・⑥荷役時のポイントについて29P
・②確認8P	・③作業30P
誤出荷・誤納入が発生すると9P	荷扱い時の商品事故は防げます31P
指差呼称で確認のプロになろう11P	雨天時の作業33P
誤納入は防げます12P	・④報告34P
確認票が貼り間違えているときもあります13P	交通事故の報告35P
確認の基となるものと確認の対象を間違えない14P	物損事故の報告36P
積込み後の最終確認で誤積み・積み忘れ・誤納入15P	油漏れ事故の報告37P
を防ぐことが出来ます15P	油漏れ事故発生時に確認すべきこと38P
納入先間違いは防げます16P	配達異常時の報告39P
納入先では、納入先名を確認17P	商品異常時の報告40P
確認した項目にレ点チェックを入れ確認漏れが無い18P	・⑤災害発生時41P
ことを認識することで間違いを防止することが出来ます18P	運転中に地震を感じたら41P
確認票を外すタイミングは20P	緊急時の連絡方法45P
納入先で誤納入(荷卸間違い)は防げます21P	・⑥社内ルール47P
現場での心得22P	・⑦まとめ50P
納入時トラック「8」の注意23P		

ドライバーの皆さんへ

毎日の安全輸送、大変お疲れ様です。

私達ジャスト便ドライバーは、会社の代表者であり、お客様の代表者です。お客様に代わり大切な商品を、お届けしていることを忘れてはいけません。

ハンドブックには、日常業務の基本的なことが書かれておりますが

「基本こそ仕事の極意」です。

ドライバーの方、一人一人が基本ルールを遵守する意識を常に持ち、毎日安全で確実な輸送を積み重ねること、それがお客様の信頼となり、皆さんの生活の安定へと繋がるのです。

お客様からお預かりした大切な商品を、安全にお届けしてください。

「ご安全に！！」

善管注意義務

私達ジャスト便ドライバーは、運輸業に関わる者として「善管注意義務」に従って業務を行わなければなりません。

○「善管注意義務」(善管義務)

正しい判断と商品に対する思いやりを持った管理者として、お客様より預かった大切な商品に常に細心の注意を払い、その品質や用途に合わせた最も良い管理を行い、さらにトラックの清潔・整頓を保ち配送することが、基本的な内容として求められています。

お客様から見て、預けた商品の状態が維持され、納品先まで適切に届けられているということです。

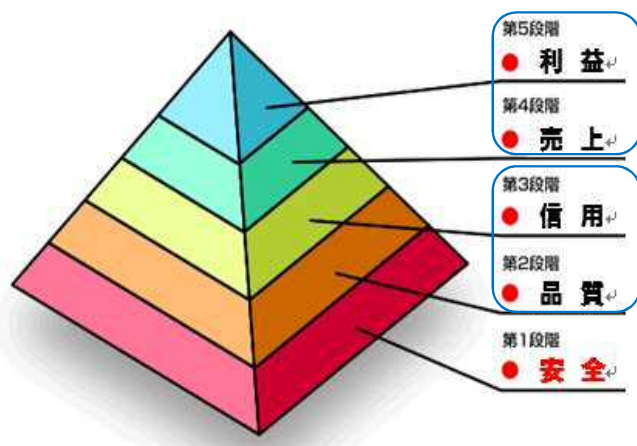


安全第一

私達ジャスト便ドライバーは、運輸業に携わっている中で安全をもっとも優先に心掛ける、「安全第一」の意識で作業を行わなければなりません。

○安全とは、危険を的確に予測して確実に防止することです。

自分自身を守るため、周りの仲間を守るため、そしてお客様と社会に安心を提供するための行動であることを忘れてはいけません。



第1段階：安全

「安全第一」安全は全てにおいて最優先されます。

第2段階：品質 第3段階：信用

「品質」が良いことによって、信用を得ることが出来ます。

第4段階：売上 第5段階：利益

「生産性」を追求することで、売上と利益に貢献します。



①ジャスト便 ドライバー

「Smile & Clean」は、会社の看板です。

○プロドライバーの服装とあいさつ
サービス業にとって服装とあいさつは基本です。

○プロドライバーのあいさつ

「おはようございます。」

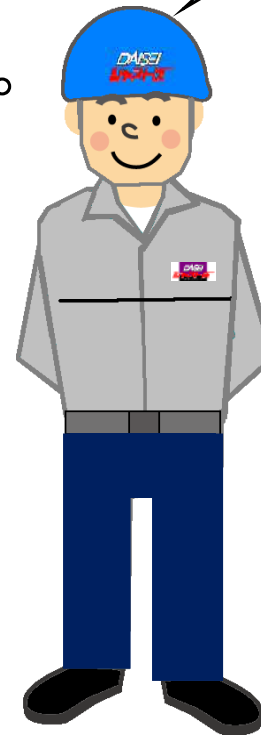
「いつもお世話になります。」

「ダイセイ倉庫の〇〇です。」

「〇〇様の商品をお届けに伺いました。」

「商品はどこに卸させて頂ければよろしいでしょうか？」

気持ちよく！
さわやかに！



○プロドライバーの服装など
気をつけていますか？

- ・ズボンの腰履き
- ・ヘルメットのあごヒモ
- ・安全靴のかかと踏み
- ・ジャンパーのチャック
- ・ポロシャツのボタン
- ・ズボンのすそまくり
- ・タオルの首かけ
- ・無精ひげ、頭髮
- ・ピアス

ジャスト便ドライバーはマナーを守る。

- ①ジャスト便ドライバーは
「安全な速度で他の手本となる運転をする！」
- ②ジャスト便ドライバーは
「ルールを守る。運転中に携帯で電話をしない！」
- ③ジャスト便ドライバーは
「道をゆずる気持ちで割り込みはしない！」
- ④ジャスト便ドライバーは
「お客様にお役立ち！」
- ⑤ジャスト便ドライバーは
「自分のゴミは持ち帰る！」
- ⑥ジャスト便ドライバーは
「エコドライブにこだわる！」
- ⑦ジャスト便ドライバーは
「歩行者(弱者)優先の運転を心がける！」

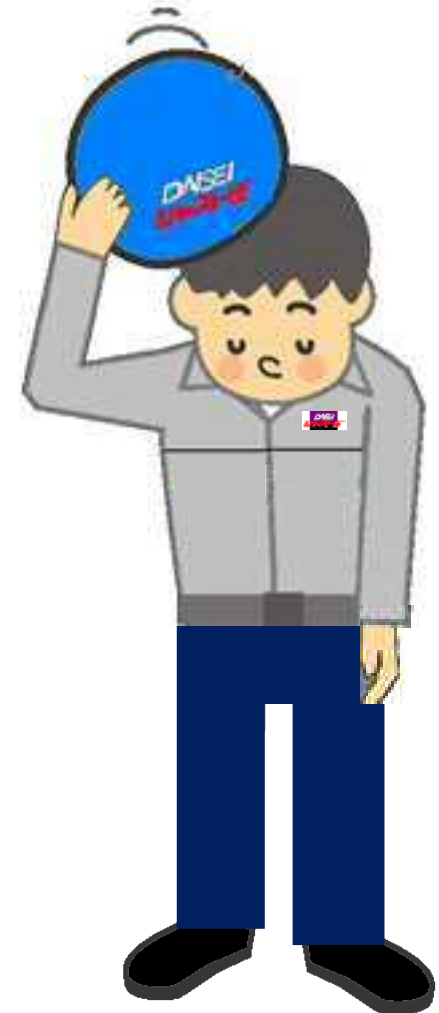


ジャスト便ドライバーとして
プライドを持った行動をする！

◇トラブル事例（他社事例も含む）◇

- ・納入先の荷受担当者様に暴言を吐いた。
- ・納入先の前の田んぼで小便をした。
- ・納入先立ち入り禁止場所のトイレを無断で使用した。
- ・納入先工場構内を走行中、運転席で喫煙をした。
- ・納入先構内の油漏れ事故を報告せずに立ち去った。

ひと様に迷惑をかけない！

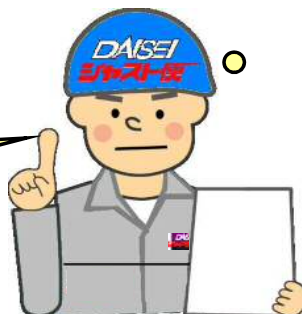


②確認

納入時に確認(照合検査)することはわかってるけれど、納入先の指示や都合で確認(照合検査)する時間がないことはよくある話です。

だからこそ積込時に伝票と商品の確認(照合検査)を確実に行之、正しい商品を荷台に積み込む必要があります。

大切なのは
積込時の確認です！



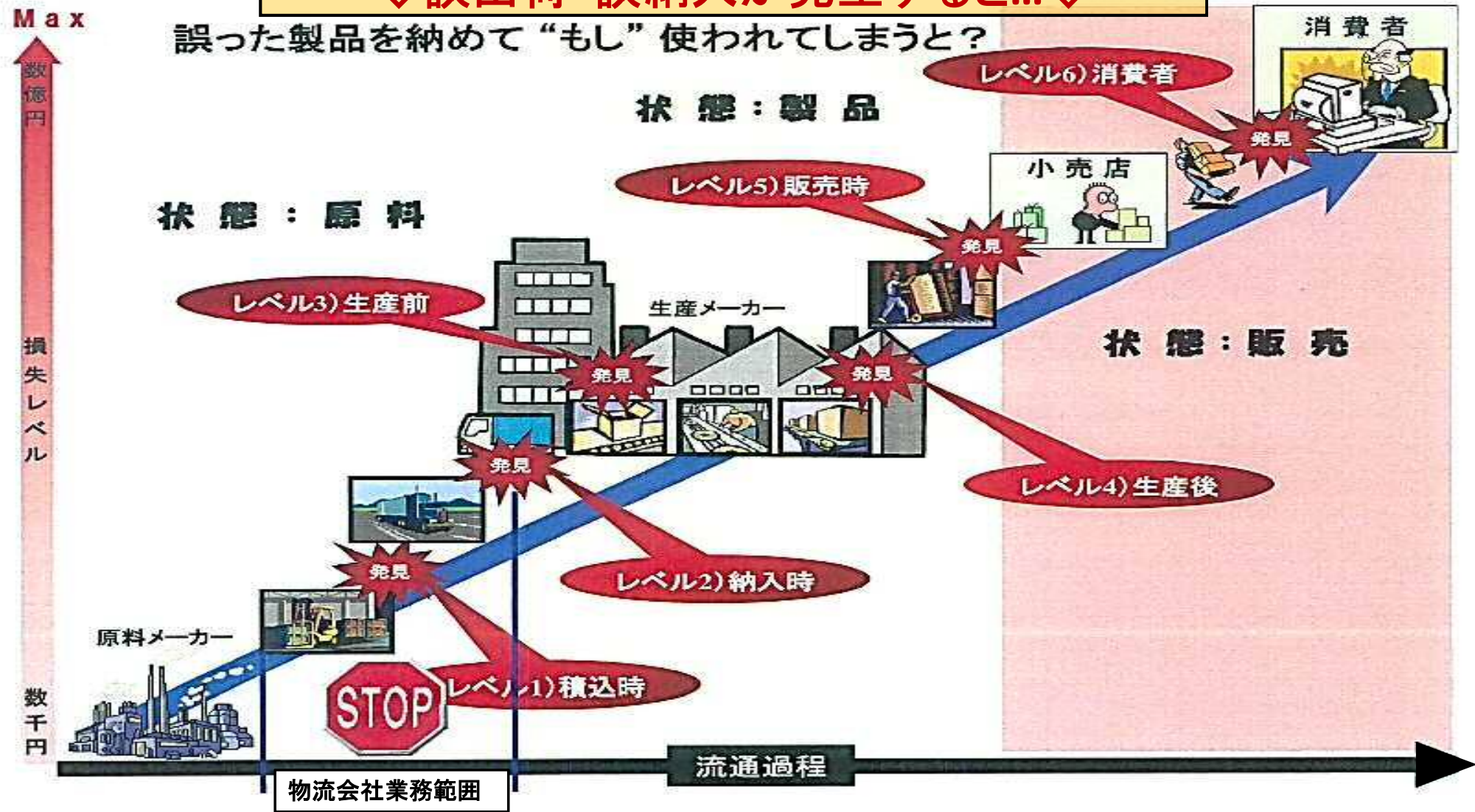
積込時には周囲とトラックを見ると、「早めにトラックをどけて場所を空けてあげたいから」など、確認は袋数だけ…… 外観だけ見て……

後で思い返せば、「なぜやらなかったのか」・「やっとけばよかった」と後悔をすることが多くあります。

積込時の確認(照合検査)は、「ドライバー」・「会社」・「お客様」・「納入先」を守る命綱です。

◇誤出荷・誤納入が発生すると...◇

誤った製品を納めて“もし”使われてしまうと？



【レベル5: (組み立て後)販売時発見】 数千～数億円損失

レベル4のコスト +

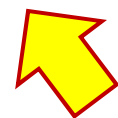
(車両)販売損失ペナルティー(製品代相当弁金)



【レベル6: (販売店)消費者発見】

数億円～無限 損失

レベル5のコスト+(車両)不良品回収コスト他
リコールに関わる費用、販売店の信用の失墜
及び販売量低下(取引停止)など



【レベル3: 生産前発見】 数十万～数百万円損失

※荷主様監査あり

レベル2のコスト + 生産計画変更コスト

及び一時ライン停止コスト



【レベル4: 生産後発見】 数百～数千万円損失

レベル3のコスト + 荷主様(原料メーカー)
信用の失墜及び不良品(部品)製造損失コスト



【レベル1: 倉庫内(積込時)発見】 数千円損失

センター内での信用・信頼の失墜

①倉庫内出庫・出庫コスト+人件費



【レベル2: (お客様)納入時発見】 数万円損失

※荷主様指導あり

レベル1のコスト + ②代替え品輸送コスト

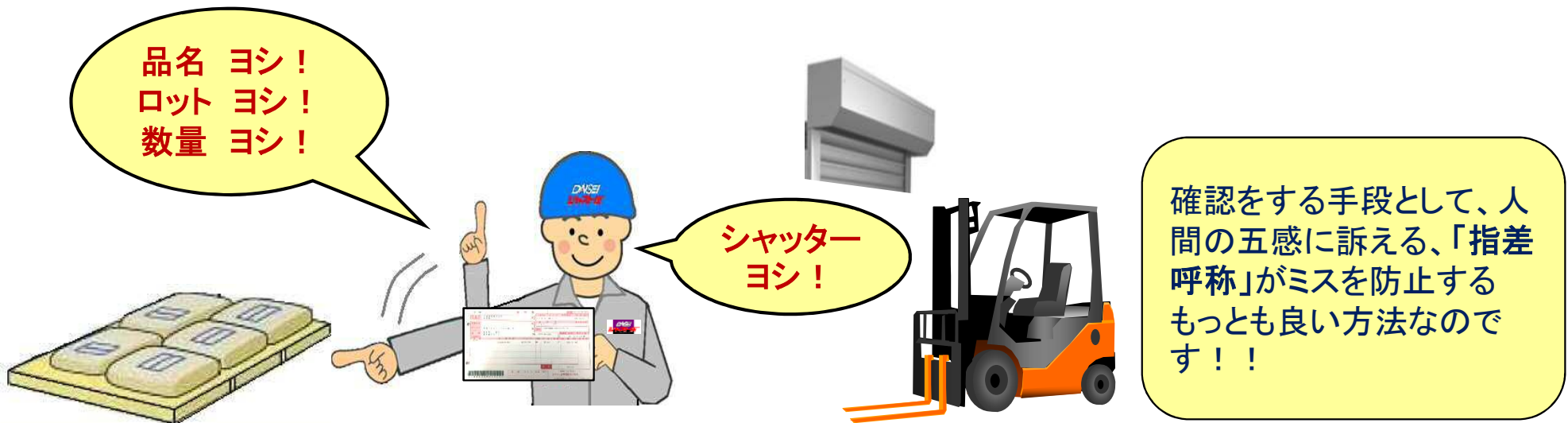
③(荷主様からの)信用及びイメージ低下

④事故に関わる間接コスト + 再発防止対策費用

ジャスト便ドライバーの仕事は、確認が最も重要な仕事です。
ミスの99%は確認で防ぐことができます。

【指差呼称で確認のプロになろう！】

「指で差して確認！」・「目で確認！」・「大きな声で確認！」



誤納入は防げます！！

○伝票＝商品

リフトマン(倉庫作業)が出庫確認したから、確認を、やってもやらなくても同じということではありません。確認(照合検査)作業は最も大切な仕事です。忙しくても、慌てていてもやらなければならない仕事です。

伝票と商品（現物）を「指差呼称」で確認（照合検査）！！
納入日・納入先名・納入先住所・品名・ロット・数量など

[illegible]

品名 ヨシ！
ロット ヨシ！
数量 ヨシ！

確認票が貼り間違えているときもあります！！

○積込前確認(荷揃え:トラックの傍で実施)

リフトマン(倉庫作業員)が間違えているときもあります。忙しい時、慌てている時、商品(現物)を確認(照合検査)しないまま、商品に貼ってある確認票と配達伝票だけを確認(照合検査)して積込を行ってしまうことがあります。

商品(現物)と配達伝票の確認(照合検査)を確実に行いましょう！！

STEP1: 確認票と配達伝票

確認票と配達伝票を確認(照合検査)をする。

STEP2: 商品(現物)と配達伝票

商品(現物)と配達伝票を確認(照合検査)をする。

STEP3: 商品(現物)の外観検査

商品(現物)に異常がないことを確認(目視検査)する。



確認の基となるものと確認の対象を間違えない！！

○積込前確認／納品時確認のSTEP3

積込前確認は、荷台に積む前に確認！

納品時確認は、荷卸し後に確認！

STEP1: 確認票と配達伝票

STEP2: 商品(現物)と配達伝票

STEP3: 商品(現物)の外観検査



確認の対象	確認の基	確認項目
STEP1: 確認票 商品に貼付けされている伝票	配達伝票	納入日・納入先・納入先住所 品名・ロット・カラー・数量
STEP2: 商品(現物) 伝票が貼付けされている商品	配達伝票	品名・ロット・カラー・数量 荷姿・パレット指定(作業条件)
STEP3: 商品(現物) 伝票が貼付けされている商品	目視	破れ・水濡れ・油じみ・汚れ

積込み後の最終確認で誤積み・積み忘れ・誤納入（荷卸間違い）を防ぐことができます！！

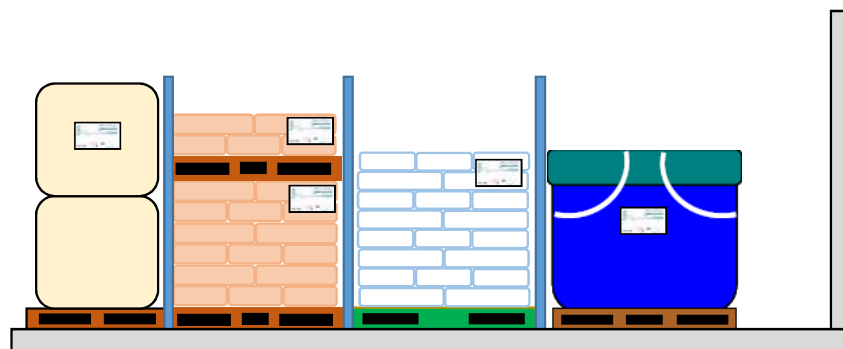
○積込後、納入先へ出発前の確認

ウィングを閉めて出発する前が最後の砦となります。

荷台の商品は「**正しく積まれていますか？**」しっかりと確認しましょう！

【配達伝票と荷台の確認】

- ①積み間違いをしていませんか？
- ②積み忘れはありませんか？
- ③納入先が解るように積込がされていますか？



納入先間違いは防げます！

○納入先住所の確認

確認をしないことにより発生するミスです。人間は思い込みをします。
出発前に「配達伝票の住所・納入先名と工場名」を必ず確認する。
時間が無くて焦っていても、必ず行わなければなりません。
当たり前前のことを当たり前に行うのが、ジャスト便ドライバーです。

【配達伝票の納入先を指差呼称で確認】

〇〇工業
A工場ヨシ！



〇〇工業は、
本社工場と
A工場が
あったなあ...

伝票の工場名に○などで
囲むと間違いを防ぎやすくなるぞ！

納入先では、納入先名を確認！！

○納入先担当者に対して、最初にやるべきこと



こんにちは！お世話になっております。
ダイセイ倉庫です。こちらが伝票になります。
A工業第2工場様は、こちらで宜しいでしょうか？
〇〇化学様の原料をお届けに伺いました。
どこに卸させて頂ければよろしいでしょうか？

こんにちは！場所はこちらで大丈夫ですよ！
ちょうど待っていました。すぐに使うので、
その台車の上に積んでおいてください。



相手が忙しそうだからといって、納入先名を確認しなければ、誤納入を発生させてしまう可能性があります。

相手が忙しそうにしているても、納入先名の確認は商品を卸す前に必ず実施しましょう。
納入先の看板名で判断するだけではなく、相手に伝票を見ていただきながら確認をしましょう。

確認した項目にレ点チェックを入れ、確認漏れが無いことを認識することで間違いを防止することが出来ます！（一部荷主様限定）

○レ点チェックの確認①

確認票へのレ点チェックは、納入時に納入先名・住所・納入日の確認、商品（現物）との確認（照合検査）時に行うものです。項目ごとに正しく確認を実施し、レ点チェックを入れることで間違いがなかったことを認識（責任を持つ）します。忙しくても、慌てていても確実に実施するのが「ジャスト便ドライバー」です。

忙しい、慌てていたからといって後からレ点チェックを入れても意味がありません。忙しい、慌てているからこそやらなければならないのが、レ点チェックなのです。

東三河 出庫票

荷主名 株式会社プライムポリマー

納入先名 スギヤマプラスチック（株）前崎工場

住所 静岡県豊川市

納入日 12/11/27

時間指定 1203055361

先方注文 4904026413

TEL 0533-80-1300

指定車型 81

品名（規格） R299

ロットナンバー C126216C

荷姿 単量 個数 総量 単位

NE25 25.00 2 50.00

合計 2 50.00

サインも忘れずに！

要返却

ダイセー倉庫運輸株式会社

確認した項目にレ点チェックを入れ、確認漏れが無いことを認識することで間違いを防止することが出来ます！（一部荷主様限定）

○レ点チェックの確認②

出庫確認票				作成日 05.18.13:41	
荷主名 458600	ポリプラスチックス株式会社			入出庫日 17/05/19	納入日 17/05/19
需要家名	株式会社矢野製作所本社草津工場			時間指定	受付 No. 1701914409
納入先名 E01936	株式会社矢野製作所本社草津工場			倉庫名 本社南	先方注文 No. S990373
住所 025206	滋賀県草津市上寺町200-5			備考 1 2	
TEL 0775-68-2822				指定車型 119	距離 P S
輸番 F-04-05 IGA130_A01. S990373	品名(規格) 2 GA130 VF2201	ロットナンバー T6C23A3	荷姿 NP	単量 25.00	個数 6
				総量 150.00	単位 KG
顧客注文番号 4860*158352 ★お届先の工場 間違い注意！！					
* 1 7 0 1 9 1 4 4 0 9 0 0 *					
ダイセー倉庫運輸株式会社					

○レ点チェックの記入例：
○レ点チェックを入れた項目は、納入先担当者様に納入先を確認済のレ点チェックは間違いなく確認したことの証跡です。

前頁と同様にレ点チェックを行いますが、
○の納入先担当者様に納入先を確認済の
レ点チェックは間違いなく確認したことの
証跡です。

確認票を外すタイミングは？

○納品時の確認票の扱い

納品時、確認票はいつ外したらよいのでしょうか？

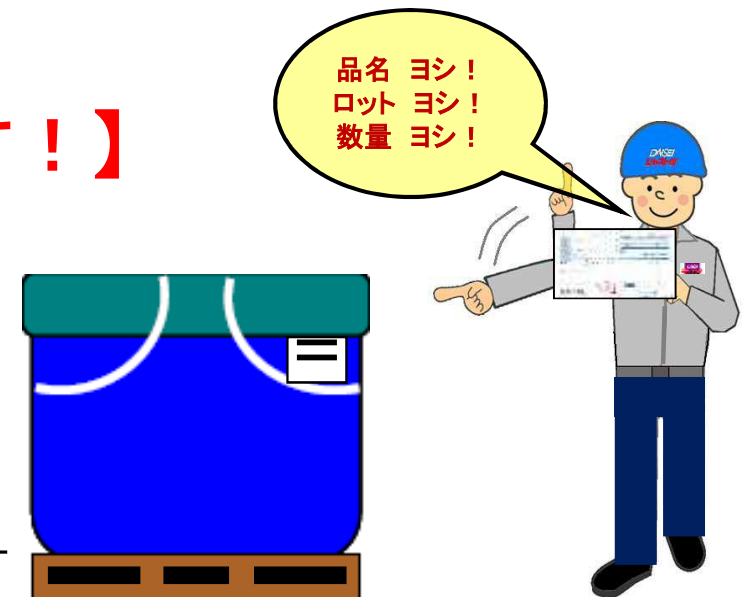
納品時ウィングを開けてトラックの荷台を確認し、納入先の商品であることを確認してから荷台から荷卸しを行い確認票を外してから、確認（照合検査）を実施します。

**【確認票は荷台から商品を卸してから
外すのが基本です！】**

○確認票と受領票との照合

全ての確認票を確実に回収した後、受領印が押された受領票との照合を行う。

※納入先・工場名・枚数は合致していますか？



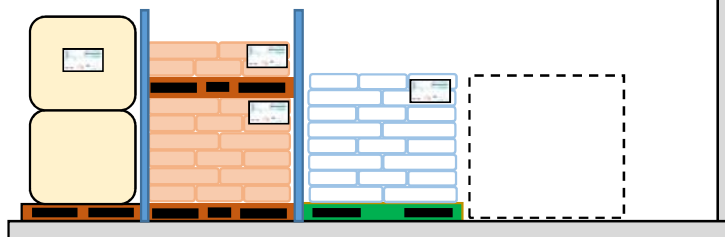
納入先で誤納入（荷卸間違い）は防げます！！

○納品後、納入先出発前の荷台の確認

納品完了後、ウィングを閉めて出発する前が最後の砦となります。
ウィングを閉める前に、正しい商品を間違いなく卸したか？
トラックの荷台を、しっかりと確認しましょう！

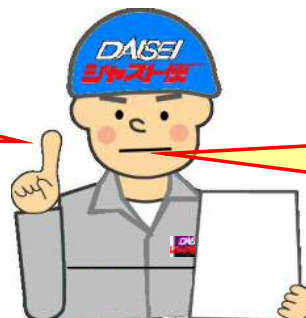
- ①商品を卸し忘れをしていませんか？ 荷台に残っていませんか？
- ②商品を間違っって卸していませんか？

※外した確認票と受領票の照合確認は
原則として、納入先構内退出前に実施する。
(納入先・工場名の卸し間違いはないですか？)



現場での心得

プロドライバーだから、
「確認」を徹底しよう！



プロドライバーだから、
「思い込み」という言葉
は口にしない！

①積込時の心得

- ・各倉庫での積込終了後、運転席で伝票を見直し間違いが無いことを確認する。
- ・全ての積込完了後、降車前に全ての伝票を見直し間違いが無いことを確認する。

②出発時の心得

- ・出発前に配達伝票の「納入先名・住所」を指でなぞって呼称。
- ・次の納入先に出発する前に確実に、配達伝票の「納入先・住所」を指でなぞって呼称。

③納入先での心得

- ・納入先の受付、受け入れ担当者に伝票を渡す際「納入先名・住所」に間違いがないか声を出して確認をしましょう！

納入時トラック「8」の注意！！

- ①出来るだけ事前に**納入先の情報**(構内経路、卸し場所)を得る！
- ②納入先の出入り口の間口・構内の状況を見て、進入方法を決める！
(前進で入場し構内で転回できない場合、**道路へバックで退出は危険**)
- ③構内設備(**庇・電線・配管・マンホール・側溝**など)に注意して、停車位置を決める！
- ④**作業スペース**と地面の状態(**くぼみ・ぬかるみ**など)を確認！
- ⑤バックする際は、**必ず後部(上方含む)**を目視確認してから動く！
- ⑥雨天時は、**雨の降る角度と停車角度**を注意！
- ⑦危険行為(**荷台、キャビンへの飛び乗り・飛び降り**など)を禁止！
- ⑧冬期、**降雪・凍結した坂道**では原則として**駐停車しない**！



運行前の確認！！

○運行前点検（日常点検）

燃料タンクのキャップロックの確認・タンクの清掃は、出発前に必ず実施しましょう。

納入先での燃料漏れ等は、納入先が特に気を遣う「**重大クレーム**」です。

【車両チェックでの注意点】

- ・燃料・オイル漏れはありませんか？
- ・雨漏りはありませんか？
- ・シートに穴あきはありませんか？
- ・荷台に汚れはありませんか？
- ・養生・資材はありますか？
- ・日常点検で異常はありませんでしたか？



キャップロック



燃料タンク清掃

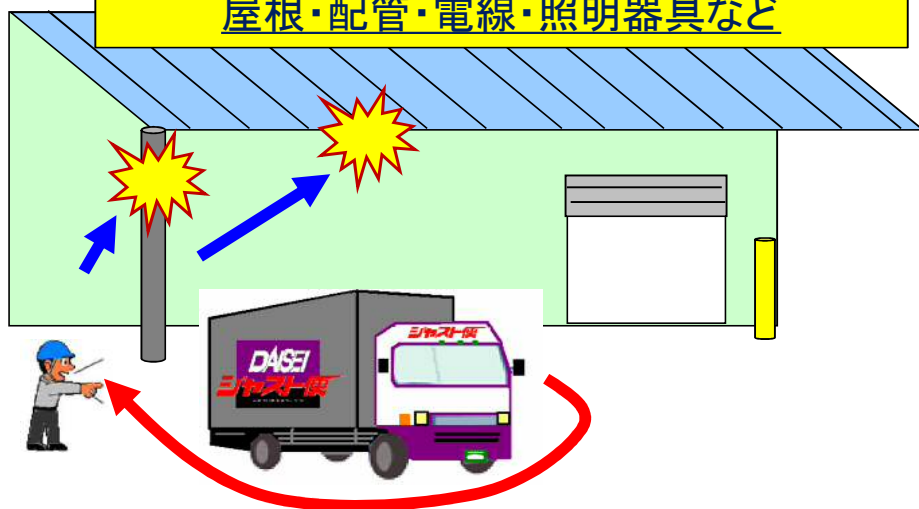


「今日も一日、安全運転!」「ご安全に！」

納入先での事故は防げます！！

○納入先到着時・出発前の一回り点検

事前に安全確認をして危険個所を知る
屋根・配管・電線・照明器具など



- ・納入先到着時には、先ず輪留めを行いましょう。
- ・到着時・出発時は車両下部の油液漏洩が無いことを確認しましょう。
- ・荷卸し場に駐車させる前に周囲の状況を確認しましょう。
- ・ウイング開閉時の上方を確認し、キャッチロックを徹底しましょう。

「大丈夫かな？と思ったら確認をする。
一回り点検で納入先の事故は防げます。」



輪留め



キャッチロック



車両下部の油液漏洩が無いか確認

運行中の確認！！

○納入後の確認

- ・**確認表**と**受領書**の確認はしましたか？（納入先・工場名など）
- ・**受領書**は大丈夫ですか？（受領印・受領書の枚数など）
- ・**卸した商品**は大丈夫ですか？（卸し間違い・卸し忘れなど）
- ・**積荷の状態**は大丈夫ですか？（荷崩れ・破袋など）
- ・**仕切りの養生材**は大丈夫ですか？（ズレている・外れているなど）
- ・**偏荷重**になっていませんか？
- ・**空パレットの回収**は大丈夫ですか？（枚数・種類など）
- ・**空フレコンの回収**は大丈夫ですか？（枚数。種類など）

フォークリフト操作時「11」の注意！！

- ①リフトの降車は、運転席左側より「後ろ向き」で左手はアシストグリップ
右手はシートバックを持ち、ステップに左足を掛け、右足から地面に着地！
(乗車の際は、ステップに左足を掛けてから乗車！)
- ②リフトの積載能力とフォークの長さ・マストの高さを確認！
- ③周辺設備(シャッター、庇など)に対して、リフトの大きさを確認！
- ④作業スペースと地面の状態(くぼみ・ぬかるみなど)を確認！
- ⑤フォークをパレットに挿す・抜く時の一旦停止と、高さや角度の確認！
- ⑥商品とバックレストの間隔5cm～10cmの確認！
- ⑦バック走行をする前に、必ず後方の安全確認をしてから動く！
- ⑧商品を運ぶ際は、バック走行で商品に合わせたスピードと荷役を！
- ⑨トラックの陰などから出る際は、安全確認とバックで徐行を！
- ⑩雨天時はスピードとタイヤの泥水の跳ねも注意する！
- ⑪危険行為(リフトへの飛び乗り・飛び降りなど)を禁止！



フォークリフト操作時「11」の注意！！ ①リフト乗降、三点支持について




- ①・②：アシストグリップをつかみ、③片足がリフトに接触している状態で、三点支持による前乗り・後降りを行ってください。
※降りるときは、乗るときと逆で降ります。姿勢は画像のように乗るときも降りるときも同じ姿勢になります。
- アシストグリップに、体重を掛けて乗り降りすると転倒につながる恐れがあります。
- 乗るとき（ステップ）、降りるとき（地面・床面）足元を確認してください。

「正しい姿勢で乗り降りし、自分自身を事故から守りましょう！」

フォークリフト操作時「11」の注意！！ ⑤・⑥荷役時のポイントについて


挿入時一旦停止



抜く前一旦停止




フォークを挿入時、抜く前は一旦停止で、爪先・角度を確認する事。確認を怠ると右図の様な事故になります。



突き刺し




抜けた時の跳ね上がり





バックレストと貨物の間は、5～10cm程度の間隔を取り荷役する事。右図の様な荷役をすると事故に繋がります。




こぶし一個分空ける。5～10cm程度



爪の入りが浅い




近づけ過ぎ

※ 乗車状態で確認が出来ない場合は、必ず降車して爪先・角度・間隔を確認する事。

作業

作業で大切なこと！！

○毎日の作業で、一番大切にしなければならないことは・・・

【安全で確実な作業です！！】

フォークリフトでの荷役等は、**急旋回・急ブレーキ**は大変危険で事故に繋がります。**急の付く動作**は絶対にやめましょう！！

また、「**指差呼称**」で周囲の安全確認をしましょう！！

※倉庫出入口・シャッター等は、通過前に一旦停止。リフトのマスト上部が、シャッター等に接触しないか、リフトの爪先が出入口のレール等に接触しないか確認しましょう！



荷扱い時の商品事故は防げます①！！

○商品をパレットに積載・取る際は、商品を正しく扱いましょう！



両脇から抱え持ち上げる



商品に合わせて
正しく持つこと。
これが大事！！

引きずり



高い位置から落とす



クレープ部分の引張

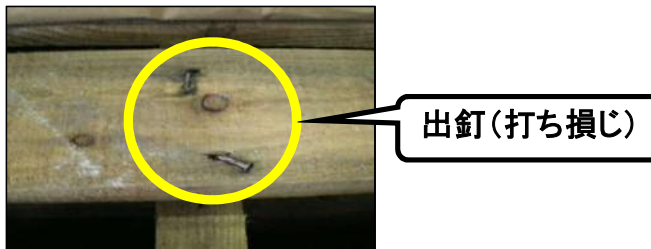
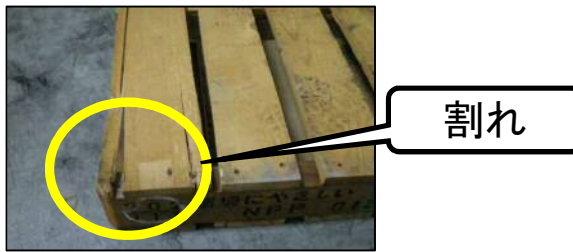
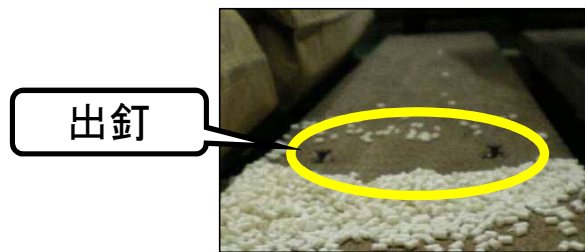


鯖折り



荷扱い時の商品事故は防げます②！！

○商品をパレットに積載する前に、パレットに異常がないことを確認しましょう！



「木製・プラ」パレット
共に異常と感じたら
使用をしない。
これが大事！！

異常パレットを使用すると、商品事故(破袋)になる可能性があります！
酷い汚れ・ゴミなどを取り除き商品に影響が出ないようにしましょう！



雨天時の作業！！

○天候の確認

スピードのある作業よりも、商品の安全を守りましょう。
雨濡れをさせないために周囲の状況を確認してから作業をしましょう。

「オーバーサックを準備しましょう。」
【資材の準備と心遣いが大切です！】



④報 告

日常の運行に異常は当たり前のように発生するものです。
異常が発生したその時は、スピードある正直な報告が、お客様と会社と何より「**自分自身**」を救います。

困ったなあ・・・
また、やってしまった！



正直に報告
したら、怒られ
るし・・・

【心の弱さに負けるな！！】

どう報告したら、
怒られずに済む
かな・・・

トラブルが発生したときに大切なこと！
まずは、お客様に迷惑をかけないこと。
次に同じことをやらないようにすることが
大切です。正直が一番強い！

会社はあなたの味方です。

自分ひとりで悩まずに、「報告」を行い、指示を仰いでください！！

交通事故の報告！！

運行中に交通事故が発生した時。⇒報告手順は以下の通りです。

○交通事故発生時の報告

- ① 負傷者の確認・救出（とにかく優先されるのが人命です。）
- ② 119番と110番に電話（負傷者を助けながら救急車とパトカーを呼びます。）
- ③ 会社に電話
- ④ 道路の通行確保（2次災害を防ぐ）
（トラックを脇に止めて後から来る車の通行を確保します。）
- ⑤ 障害物の除去

道路の障害物を除去します。樹脂の流出や火災が発生したら自らの安全を確保したのち配車に報告し、イエローカードの内容を確認後状況に合わせて、災害通報を行う。

イエローカード
まずは配車に
一報し指示を
仰ぐ。

[illegible]

物損事故の報告！！

納入先構内で物損事故が発生した時。⇒報告手順は以下の通りです。

○物損事故発生時の報告

① 顧客に報告

（発生時には直ちに立会いの方もしくは近くにいる方に状況を報告し、謝罪しましょう。）

② 事故発生場所（箇所）の確認

（事故発生場所を立会いの方と、一緒に確認していただきます！）

③ 会社に電話

（立会いの方に断りを入れて、会社に連絡を入れましょう。報告する際は、5W1Hで落着いて！）



油漏れ事故の報告！！

納入先構内で油漏れ事故が発生した時。⇒報告手順は以下の通りです。

○油漏れ事故発生時の報告

- ① 油漏れ箇所の下に、吸着マットを敷く(2次被害を防ぐ)
(発見したら拡散防止のため、油漏れ箇所と思われる場所に吸着マットを直ちに敷きましょう。)
- ② 顧客に報告
(拡散防止の処置後、直ちに立会いの方もしくは近くにいる方に状況を報告し、謝罪しましょう。)
- ③ 油漏れ箇所・場所(路面など)を確認
(立会いの方と一緒に、現場の状況を確認しましょう。)
- ④ 会社に電話
(立会いの方に断りを入れて、会社に連絡を入れましょう。
報告する際は、5W1Hで落着いて！)



※車載の油漏れ処理キットが使用できる状態か、運行前に必ず確認しましょう！

油漏れ事故発生時に確認すべきこと！！

拡散防止の処置、納入先の立会いの方に報告！次に…



①どこから漏れているのか？

②何が漏れているのか？

③どのくらいの量(範囲)？

④漏れは止まっているのか？



⑤走行した路面上に、漏れた痕跡はないか？

⑥河川、排水溝等に流出していないか？

⑦漏洩部分の応急処置はしたか？

⑧トラックは運行できる状態か？



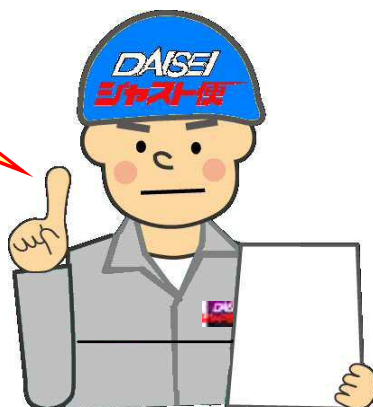
※納入先の指示を会社に報告して、会社の指示を仰いでください！！

配達異常時の報告！！

車両の故障・渋滞や荷卸し待ちによる配達時間の遅延・荷受人の不在
・商品の積み忘れ・積み間違い・間違った商品を納品してしまった等・・・

⇒直ちに会社に報告！

迷わず
報告しよう！！



スピードと正確さが
重要！！

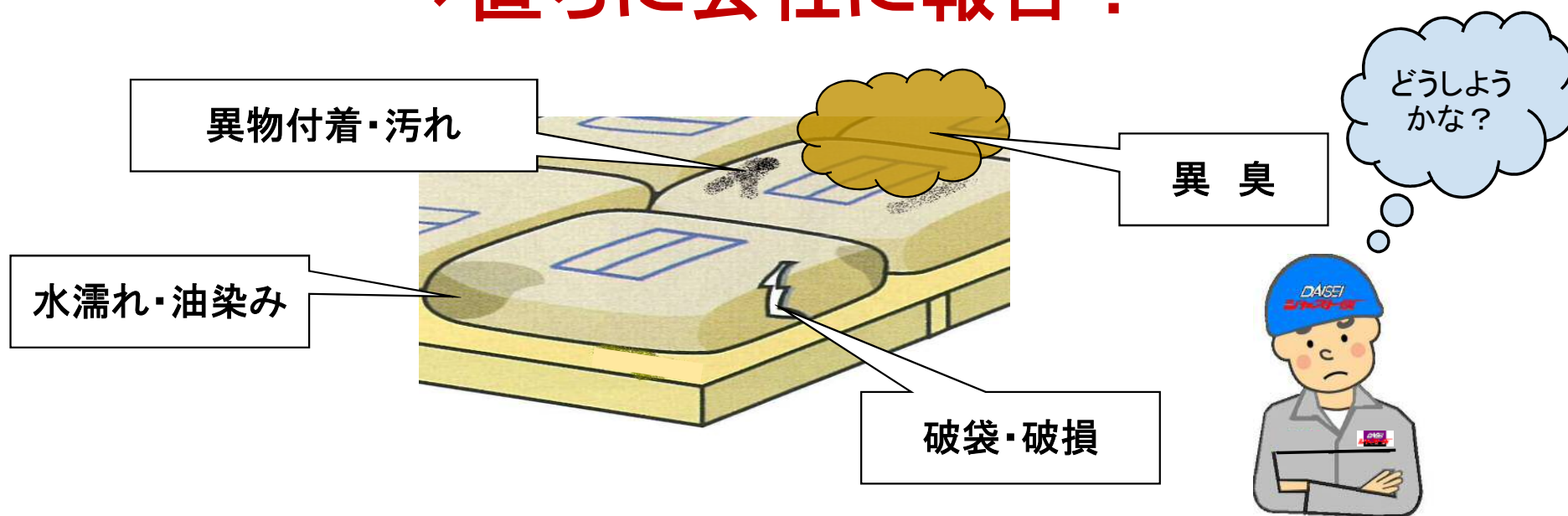
会社はあなたの味方です。

自分ひとりで悩まずに、「報告」を行い、指示を仰いでください！！

商品異常時の報告！！

破袋・破損・水濡れ・油染み・異物付着・汚れ・異臭・その他異常を発見・発生した場合。※コンタミ防止を含む。

⇒直ちに会社に報告！



自分ひとりで判断せず、「報告」を行い、指示を仰いでください！！

⑤災害発生時

運転中に地震を感じたら！！

車の運転中は、おおむね震度4で揺れに気付き、震度5強で運転が困難になると云われています。その時は落ち着いて次のように行動してください。

○まず安全に停止

①バックミラーなどで、周りの車に注意を払いながら徐々にスピードを落とし、**ハザードランプをつけながら道路の左側に停車**してエンジンを切ります。

- ・橋の上やトンネル内部および交差点内で揺れに気付いた場合は、安全を確かめながら通過します。
- ・交差点付近の停車や、のり面・トンネル出入り口付近の崩落の危険がある場所への停車は避けて駐車場・空き地など安全な場所に停めます。やむを得ず道路わきに停める場合は、車間距離を空けるなど配慮をします。

②余震に備え、サイドブレーキをかけます。

③カーラジオ・スマートフォンなどで地震情報を聞き、情報を把握します。
また、1～2分で揺れが収まっても、しばらく様子を見ましょう！！

○次に避難と連絡

- ①やむを得ず、車を置いて歩いて避難をする時は、しっかりと窓を閉め**キーは付けたままでドアはロックをしないまま**で車を離れます。

救助活動等で、必要に応じてすぐに移動できるようにしておきましょう！！

- ②デマやうわさに惑わされず、現場の警察官などの指示に従い、地域の住民とともに安全な場所へ避難します。

- ③家族に無事を伝え(可能であれば)、避難場所へ向かいます。

※家族との連絡方法(安否確認)は、『**緊急時の連絡方法**』を参考にしてください！



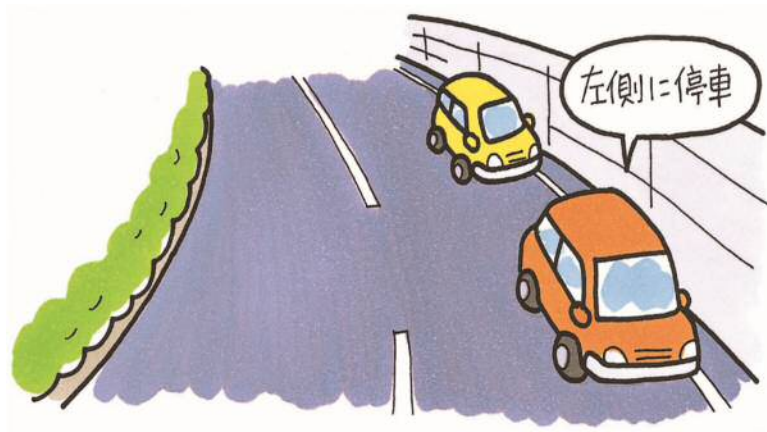
○特に高速道路では

①あわてずゆっくり減速し、道路の**左側に側に寄せて停車**し、エンジンを切ります。

※道路情報板やハイウェイラジオ、また警察や公団のパトロールカー搭載のスピーカー、サービスエリアなどの拡声放送により必要な情報が提供されます。

②緊急の場合は、**キーは付けたままでドアはロックをしないまま**で車を離れ、近くの「非常口」などから避難してください。

③高速道路の高架区間などでは、倒壊していなくても車から離れ、「非常口・階段」、「出入口」から避難してください。

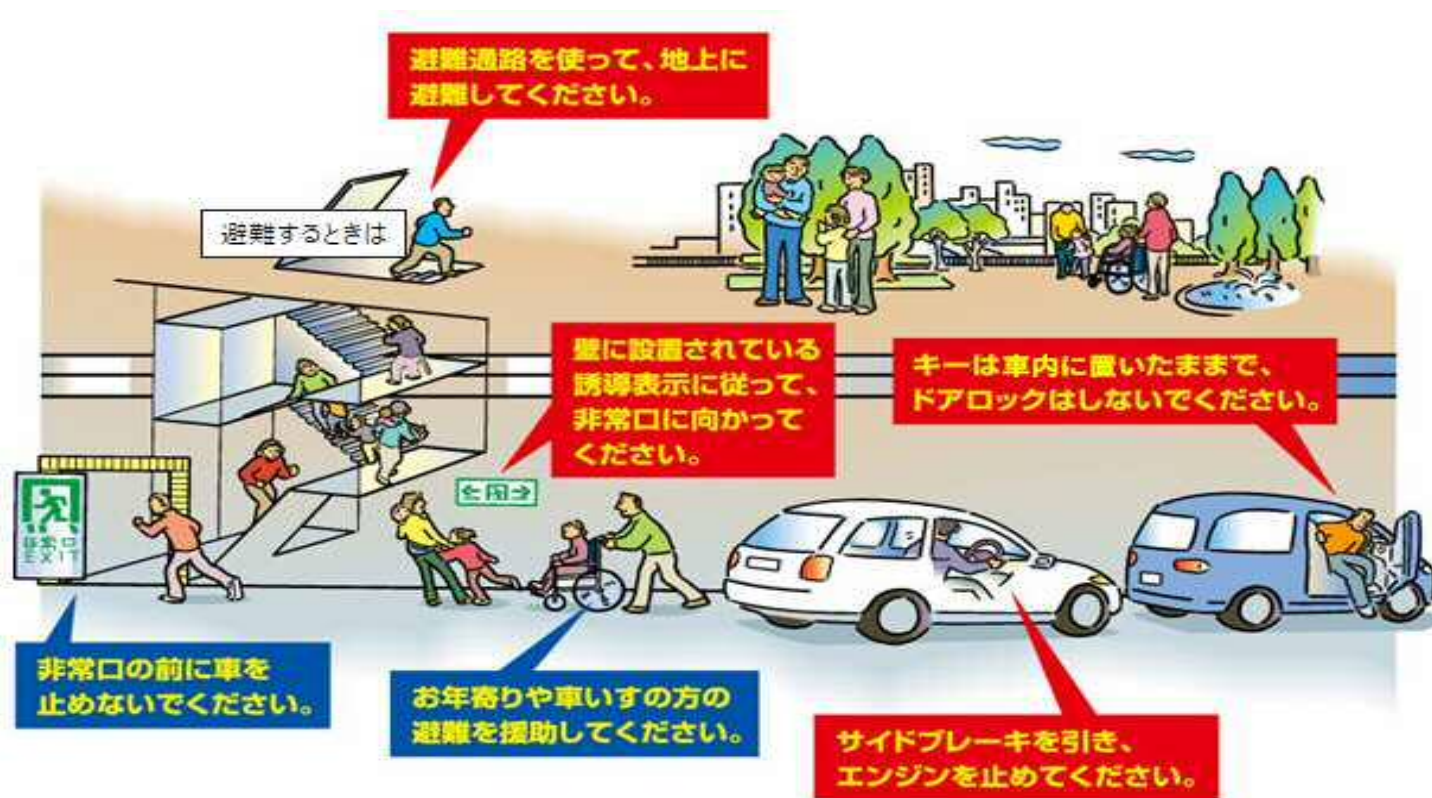


○特に高速道路では

④トンネル内ではラジオをつけて「災害時用の緊急放送」を聞き、安全な場所へ避難してください。

※非常口は750m以上のトンネルに750m程度の間隔で設置されています。

（対面通行のトンネルは3000m以上のトンネルに設置されています。）



緊急時の連絡方法

日頃から地震などの大災害が発生した時の対応や集合場所について、家族で取り決めることが大切ですが、予測のできない事態も発生します。
そんな時、安否確認が出来るサービスがあります。

【災害用伝言ダイヤル】171

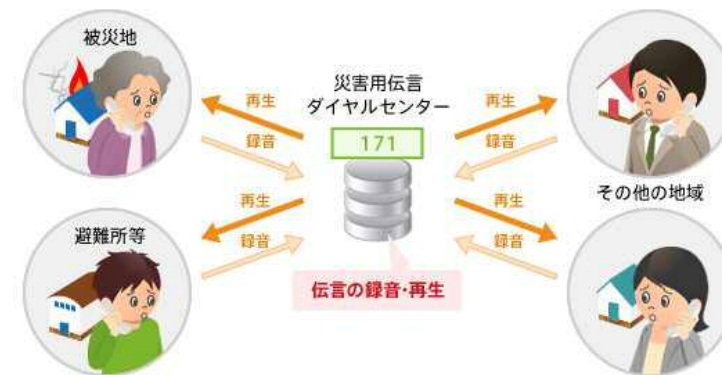
NTT各社が運用する「災害用伝言ダイヤル」は、大地震発生時に「**個人の安否確認の手段**」として、被災地の方々が録音した安否などに関する情報を提供するものです。

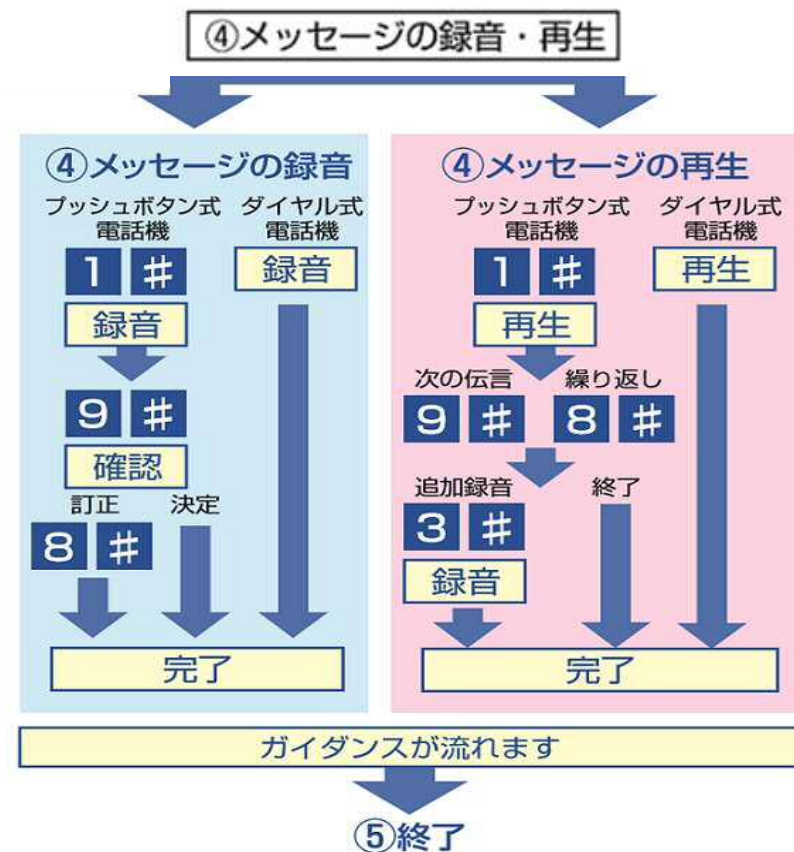
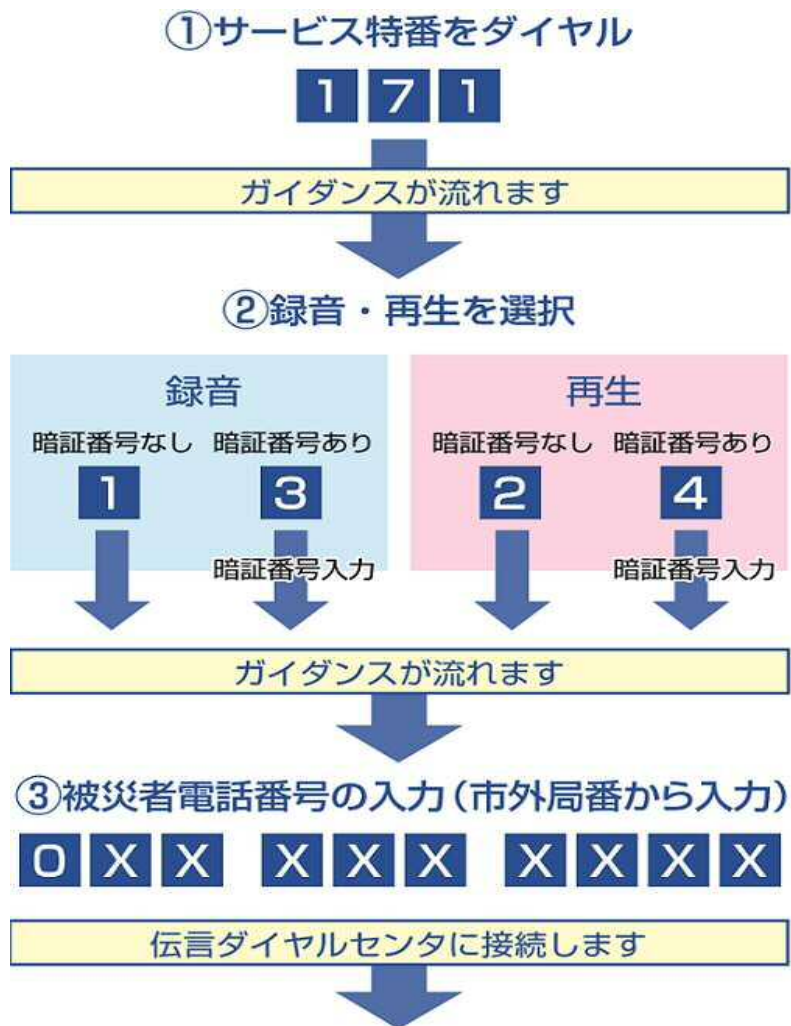
利用方法は「171」をダイヤルし、ガイダンスに従って行います。

- 伝言録音時間／30秒
- 伝言保存期間／2日間(48時間)
- 携帯・PHS・公衆電話からも利用可能です。
- 通話料がかかります。

忘れてイナイ(171)? 災害伝言 **171**

などと覚えてください





※プッシュボタン選択について

ダイヤル回線からボタン式電話機をご利用の場合、センタ接続後にプッシュ信号送出モードに切替え「1#」を入力すると、プッシュ信号による操作(訂正、繰り返し、次ステップ等)が可能です。
ダイヤル式電話機をご利用の場合はプッシュ信号による操作ができないため、「録音訂正」や「繰り返し再生」ができません。

⑥社内ルール

ダイセー倉庫運輸(株) 構内優先順位

①

:



トラック

②

:



リフト

③

:



人

構内歩行時「6」の注意！！

- ①トラック・リフトを優先させる。
- ②走らない、飛び出さない。
- ③乗車中のリフト周囲には、近寄らない。
- ④リフトの後ろを通る際は、「通ります！」と声を掛ける。
- ⑤ながら歩きをしない。
- ⑥トラック、リフトの軌道上に立ち止まらない。



リフト・バック時「6」の注意！！

- ①右手で左後方・右後方を指差呼称で確認してから走行する。
- ②シートバックを抱えるように持ち、後方全体が確認できる姿勢で走行する。
- ③周囲に人がいる場合は、「動きます！」と声をかける。
- ④歩行者から離れて走行する。
- ⑤曲がり角、トラック等の死角に出入りする際は、一旦停止にて安全確認する。
- ⑥トラックが走行してくる場合は、通過を待つ。



⑦まとめ

学ぶということ

人間は誰しも間違いを起こします。
人間は完璧ではないので仕方のないことです。
しかしもしあなたが間違えてしまったら、その間違いに目を背けずに、
間違いを受け止め、2つのことを冷静に考えてください。

①なぜ間違いが起ったのか？

②どうしたら間違いを起こさなかったか？

そしてあなた自身の行動を見直し、改めていきましょう！！
人間は間違えることもありますが、間違いから学ぶことが出来ます。

失敗を経験に、次に活かしましょう！！

道に感謝！！

- ①弱者にやさしい運転をする。
- ②交通ルールを守り、安全運転する。
- ③道を汚さない。

